

Be Proactive!

校内研究便り ①
令和5年4月18日
研究推進部

1 組織

○分掌

		委員長	1年	2年	3年	4年	5年	6年	専科
研究推進	MK	学力向上	TM	TM	NK	NS	YY	NN◎	OS
		特別活動	IY	OK	OY	YH	TC	MK	MW◎、YI
		LIM	SN	HR	HT		TS◎	ES	SA

2 分科会

- 低学年分科会 IY SN TM TM HR OK YI
- 中学年分科会 NK HT OY NS YH MK MW
- 高学年分科会 TS TC YY NN ES MK OS SA

3 研究主題

研究主題（仮） 『児童の主体性の育成』

4 研究の進め方

○ 研究の方向性について（昨年度より）

- ・ 主体的な児童の姿が分からないから、それを見出すために研究をする。
- ・ 教科は絞らない。
- ・ 2年間の長期的な視点で研究を進める。（R5・6特色ある学校づくり推進校に指定）
- ・ 今年度は前期を【課題設定・情報収集期】、後期を【発展・充実期】、2年目以降を【実践・検証期】とする。

1年目前期 【課題設定・情報収集期】	1年目後期 【発展・充実期】	2年目以降 【実践・検証期】
「主体的な児童の姿って何？」という疑問の解決に迫る段階	【課題設定・情報収集期】でつかんだ児童の実態や学んだことを生かして実践を積む段階	1年目の研究における成果と課題を基に、さらに実践を重ねる段階
<ul style="list-style-type: none">・ 児童の実態の把握・ 講師の招へい・ 実践例の収集・ 研究発表への参加・ OJT等を活用した研修・ 模擬授業	<ul style="list-style-type: none">・ 低中高1本ずつの検証授業研究 (状況によっては、今年度は研究授業を行わない)・ 講師の招へい・ 実践の成果と課題のまとめ	<ul style="list-style-type: none">・ 各学年1本ずつの研究授業・ 講師の招へい・ 仮説の検証・ 実践の成果と課題のまとめ

5 研究に関する日程

	校内研究日	内容
1回	4月19日(水)	研究全体会(講師松尾英明先生による講演)
2回	5月31日(水)	研究全体会
3回	6月7日(水)	研究全体会
4回	7月13日(水)	研究全体会
5回	11月29日(水)	研究授業候補日①
6回	12月12日(水)	研究授業候補日②
7回	1月17日(水)	研究授業候補日③
8回	1月31日(水)	研究授業候補日④
9回	2月21日(水)	研究全体会(研究の成果と課題)
10回	3月8日(水)	研究全体会(研究の中間まとめと次年度に向けて)

*夏休み中にリーダーインミーの研修を行う。

*今年度については「情報収集」を中心とした調査研究を行い、可能な範囲で検証授業研究を実施する。

6 4月19日(水)研究全体会

○時間 14:00~15:45

○場所 図書室

○当日の流れ

14:00 ①校長挨拶(講師紹介を含む)

②講演

テーマ「主体性の育成」

講師 松尾英明先生

15:00 ③グループ協議

(学力向上・特別活動・LIMに分かれて話し合う。)

15:15 ④全体協議・質疑応答

15:40 ⑤謝辞

○役割分担

- | | |
|------------------|------|
| ・司会 | …委員長 |
| ・図書室準備 | …1年 |
| ・板書準備 | …2年 |
| ・プロジェクター・スクリーン準備 | …3年 |
| ・表示準備 | …4年 |
| ・講師用お茶準備 | …5年 |
| ・全体会記録 | …6年 |

*表示は、図書室の机に「講師」の表示を貼る。玄関に講師をお迎えする表示を貼る。

(表示は、前澤が作成)

*講師用の飲み物(ペットボトルと紙コップ)の用意を前日までに副校長に依頼する。

*全体会記録や写真は、Teamsの所定の場所(R5三吾小研究推進チームの研究全体会議事録チャンネル)に直接入力・投稿し、共有する。